

清水辰見さん
 地域における健康に関する啓発や支援などを行っています。重要な活動の一つは、健康診断やがん検診の受診勧奨です。さまざまな機会を捉えて声をかけています。が、現役世代のがん検診の受診者が少ないです。「もっと早く検診を受けておけばよかった。」という言葉をよく聞きます。今まで受診しなかった方が一人でも多く受診してもらえよう、これからのがんはっていきたいです。



清水辰見さん
 すさみ町健康推進員

がん検診を受けましょう！
 がん検診は、お住まいの市町村で実施しています。費用には市町村の補助があり、少ない自己負担で受けることができます。なお、働いている方は職場で受けられる場合もありますので、職場の担当者にご確認ください。
 また、がん検診で精密検査が必要と判断された場合は、必ず精密検査を受けましょう。



市町村のがん検診

胃がん

胃がん
 胃部エックス線検査
 レントゲンで胃の小さな病変を見つける検査
胃内視鏡検査
 胃カメラで胃の小さな病変を見つける検査

肺がん

肺がん
 胸部エックス線検査
 レントゲンで胸の病変を見つける検査
 ※喫煙者を中心に喀痰(かたん)細胞診も行います。

大腸がん

大腸がん
 便潜血検査
 自分で採取した便に混じった血液の有無について調べる検査

子宮頸がん

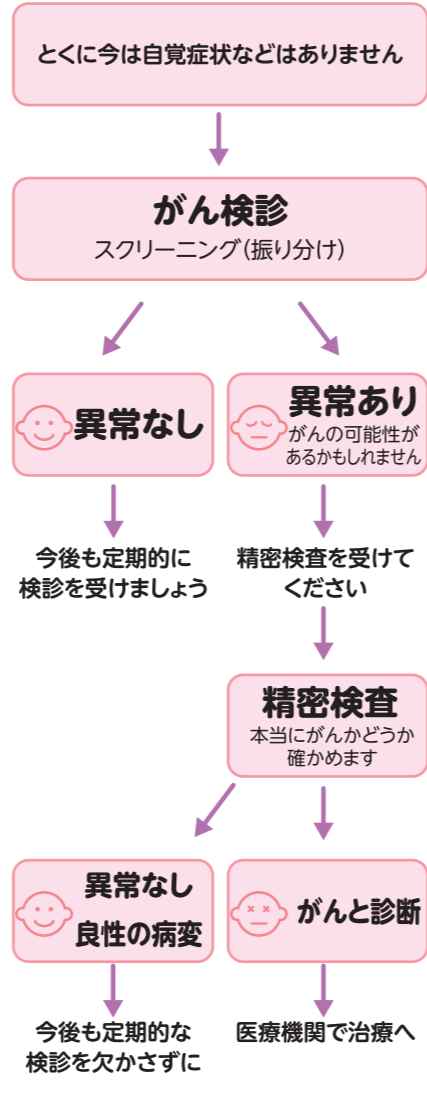
子宮頸がん
 視診、子宮頸部の細胞診と内診
 子宮頸部の細胞を採取し、異常な細胞がないかを調べる検査
 ※検査時間は15分程度。痛みはあまりありません。

乳がん

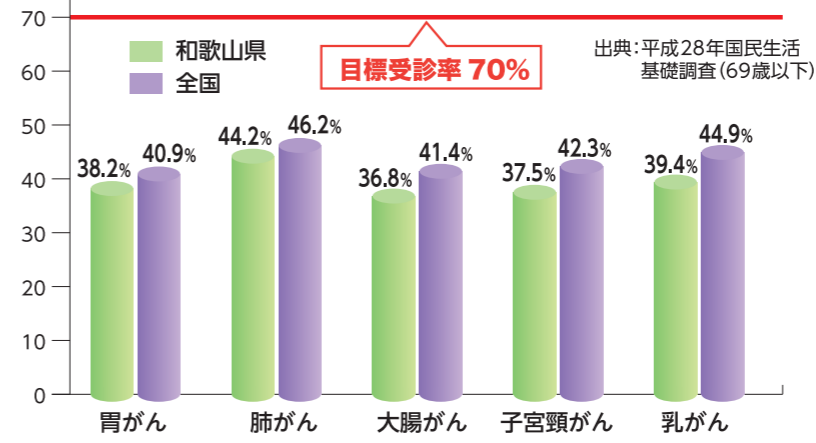
乳がん
 乳房エックス線検査(マンモグラフィ)
 マンモグラフィにより、小さなしこりを見つける検査

対象の方は、原則、加入保険の種別に関係なくお住まいの市町村でがん検診を受診できます。詳しくは、市町村がん検診担当課へお問い合わせください。

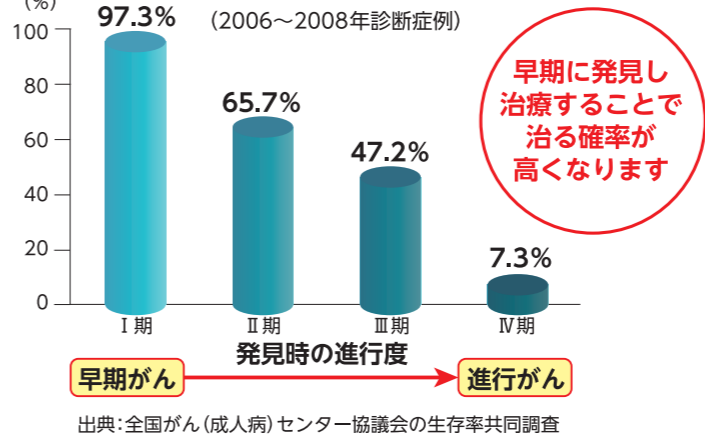
がん検診の流れ



がん検診受診率(全国・和歌山県)



胃がんの進行度別5年相対生存率



多くのがんは早期に発見し、早期に治療を受けることで、治る確率はぐんと高くなります。例えば、胃がんの場合、早期発見で5年相対生存率は100%近くになりますが、進行したがんでは10%に満たなくなります。自覚症状が出る前にがんを見つけることができるがん検診は、がんによる死亡者を減らす確実な方法です。
 県では、がん検診の受診率70%以上(2023年)を目標に、市町村など関係機関と連携して、受診率の向上に向けた取組を推進するとともに、がん検診の質の向上(精度管理)をより一層推進します。

がんの早期発見・早期治療

セカンドオピニオンを活用する

治療法の選択肢が複数あることもあります。患者さんが納得のいく治療法を選択できるように、担当医とは別の医療機関の医師に意見を聞くことがセカンドオピニオンです。
 セカンドオピニオンを受ける場合は、担当医に伝え、紹介状などをもらう必要がありますが、利用に悩んだときや手続きなどについて知りたいときは、がん相談支援センター(P7参照)に相談してください。

※相対生存率とは、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた生存率です。